大阪府立布施工科高等学校 PTAだより

～第90号～

編集 発行
大阪府立布施工科高学校
PTA実行委員会
東大阪市宝持3－7－5
http://www.osaka-c.ed.jp/fuse-t/

PTA会長
山本　紗衣

今年度、会長を務めさせていただく事になりました山本と申します。

コロナの制限が解除され、ようやく子ども達の学校生活も以前のような輝きを取り戻し、私たち保護者も行事を通じて、子どもたちの成長を見られる機会が増えるようになりました。

PTAの活動としましても本年度は皆さんに参加していただける総会を開くことができ、活動を共有させていただけることがとても嬉しいことなのだと改めて実感できました。

今後の活動としましては、コロナ以前の活気を取り戻しつつ、コロナ禍で暗中模索しながら行った活動も取り入れ、学校と連携を強化し、少しでも子どもたちの手助けができるよう活動してまいります。

役員一同および実行委員一丸となって試行錯誤しながらにはなりますが、新しいPTAの形、学校と家庭のますますの連携をめざし、皆さん意見もいただきながら活動に取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

校　長
中井 宏典

会員の皆様には、平素より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症の扱いも緩和され、学校での活動については昨年度よりも、さらに活発に進められるのではないかと思っております。

体育祭では、午前中はぬかるんだグラウンドで泥んこになりながらの競技、その後は日差しも戻り、生徒たちの応援にも熱気を感じることができました。全員の頑張りが光る良い行事になったと思っております。また、熱中症対策としてPTAから飲料の提供・配付もいただき、無事終えることができましたこと感謝申しあげます。

過日開催した学校運営協議会においても、体育祭は工科高校のものづくり精神が活かされた、良い行事である、との好評をいただいております。また、ものづくりワークショップ等の校外への魅力発信や、新たな授業づくりの一例として電気自動車や5軸マシニングセンターによる作品等の紹介をさせていただき、継続していくことが大切であるとのご意見も頂戴しました。

志願者数は厳しい状況ではありますが、工科改編を推進し、PBLの導入やデュアルシステム、ものづくり教育のさらなる特色化についても引き続き取り組んでいきたいと考えております。

秋には文化祭も予定しております。保護者の皆様には生徒と楽しみながら喜びを共感し、本校の教育活動を支えていただければと願っております。

教　頭
川崎 哲也

「おれがしたドーピングは、努力だけさ」ディエゴ・マラドーナ廊下に掲示されている金言を見て、私の一日がスタートします。

毎日更新されているので、生徒の皆さんも心にささる言葉を胸に秘め1日を大切に過ごしてほしいと思っております。

本年度から教頭として着任しました川崎哲也と申します。保護者の皆様には、平素より本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、4月には1年生162人を迎え、全校生徒430人で新年度がスタートしました。1年生の入部によりクラブ活動も、より活発になりグラウンド・体育館から大きな声が聞こえる放課後になっております。

7月3日から就職の求人受付がスタートしております。その中で、人事担当の方から「布施工の生徒さんは、あいさつが気持ちいいですね」「みんな挨拶してくれます」とお言葉を頂いております。生徒の行動や卒業生の活躍が企業に伝わり、多くの求人につながっているのを感じております。

保護者の皆様には、お子様との会話の中で学習や資格試験、クラブ活動などの様子を聞いていただき、本校の教育活動を支えていただければと願っております。

宣誓！

実況中

第71回 布施工体育祭

熱盛！

令和5年6月7日(水)

ぶっつりぎりダァァァ

前日までの天候がとても怪しく不安でしたが、当日は天候も回復し、開催することができました。

生徒のみなさんが熱く盛り上がっているのを肌で感じることのできる体育祭でした。

さあ、行くでぇ！

今年も熱中症対策は万全です

デコチャリ！やってます

布工限定

デコチャリ部門優勝
建築設備系！

機械系

電気系

先生も保護者も熱盛！でした！

今年度の総合優勝は赤ブロック（機械系）

PTA活動報告等

令和5年度　PTA実行委員のご紹介

◇会　長　山本　紗枝
◇副会長　加藤　美月
◇副会長　喜多　みのり
◇書　記　東谷　実嘉子
◇会　計　翁坂　晶子

◇文化体育委員
委員長　森　加代
副委員長　植野　佐知
荒木　知香
中村　幸子
松井　ふみこ
大畑　美波

◇広報委員
委員長（兼）翁坂　晶子
副委員長　今井　仁美
篠原　三紗子
林　早織
塩田　知子

◇３年
委員長　出口　麻子

◇２年
委員長　岩永　由美
副委員長　堀田　尚美
寺地　真実
山本　智恵

◇１年
委員長　好田　友希
副委員長　山崎　知美
涌本　眞有美
深美　恵美

これからのPTA行事予定

９月１３日㈬
実行委員会・学校保健委員会
１０月１４日㈯
社会見学
１０月２５日㈬
実行委員会・学級委員会・中間監査
１１月１１日㈯
銀翼祭（文化祭）・実行委員会
１月２４日㈬
実行委員会
１月３１日㈬
学校保健委員会
１月（予定）
ミニ研修会
３月２日㈯
卒業式・ＰＴＡだより９１号発行
３月１９日㈫
合格者説明会

ＰＴＡ活動へのご協力お願いします

食堂体験

R5.5.17 ㈬

新旧の実行委員交代の前に実施しました。値段も味も非常に好評でした！

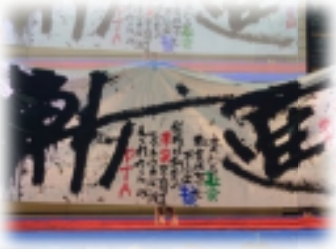
体育祭

ｽﾎﾟｰﾂﾞﾘﾝｸ配布
R5.6.7 ㈬

今年度は、できるだけ冷たいものを提供したいということで、チケット交換制で配布を行いました。

近畿地区高等学校PTA連合会大会

滋賀大会
R5.7.1㈯



7月1日㈯、草津市にて開催の近畿地区高等学校ＰＴＡ連合会大会へ参加しました。
コロナが第５類に移行した今、親として子ども達を支えるためのＰＴＡの在り方を、改めて考える機会となりました。
（文　書記　東谷実嘉子）

ものづくり フィールド ワーク

系実習室見学＆交流会

R5.7.12㈬

電気

機械

建築設備

ものづくり フィールドワーク

我が子が工科高校へ進学し座学よりも実技が多い事は知ってましたが正直、工科高校って？どんな授業があって一体どんな実技があるんやろ？とハテナがいっぱいな状態で「ものづくりフィールドワーク」に参加させて頂きました。

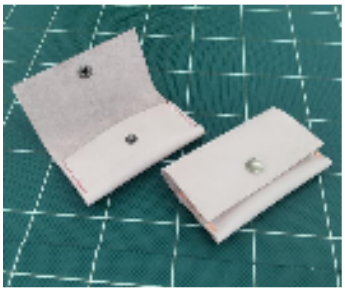
『電気系』
配線など電気工事と様々なプログラミングをする2コースがあることを知りました。別室では現2年生が国家資格の実技に向けて、みんな互いに教え合ったり学習を熱心にしてました。

『機械系』
機械と言うと単にマシンの機械と思ってましたが自動車を1から組立てたり固形の物体をプログラムして好きな形の物を作ったり奥が深いなと思いました。

『建築設備系』
家の図面を描いたり、私が子供ころ街中で見かけた測量の器具も進化していてアナログ→デジタルを感じました。

交流会

レザークラフト



～交流会～ レザークラフトでの小物づくり

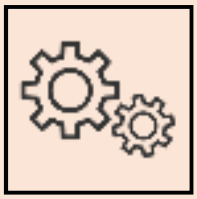
各系の見学後、交流会としてレザークラフトによる小物づくりを行いました。

針と糸を通す所から悪戦苦闘しながらも和気あいあいと皆さんで教え合いながら作業を進め、楽しい雰囲気で作業を終えました。コインケースにまたはちょっとした小物を入れたり…バッグの中では邪魔にならない丁度いいサイズ感の小物入れが出来ました。

暑い中、長時間に渡り参加くださいました保護者の皆さまありがとうございました。また関わってくださいました先生がたもお忙しいなかご協力いただきありがとうございました。

（文：1年委員長　好田　友希）

各系紹介



機械系長
笹山　秀樹

身近なものから宇宙まで工業技術は欠かせません。本校機械系では機械産業におけるモノづくりの知識や技能を学び、幅広い分野で活躍できる技術者の育成を目指しています。

機械系実習では用途に合わせた加工法（切削加工・溶接・鋳造など）からコンピュータを使用した製図（CAD）や機械制御などを取り入れることで、実践的な力を磨いています。数値制御工作機械（NC加工機）や電気自動車の分解・組立実習などの実習を通して最新の技術を学び、体験し、技術の進歩に応じた技術者の育成にも力を入れています。

また、資格取得（技能検定、国家資格など）を通して、自分が学んだ技術・知識がどのくらいのレベルなのか試すことができます。資格取得には積極的な努力が必要です。資格取得に挑戦することは、自分自身の自信につながり、積極的な生活態度を育成することになります。

これからの社会は人工知能（AI）の発達により、今以上に変化の激しい社会になると予想されます。社会の変化に対応できる幅広い知識や技能を身に着けた技術者として、社会で活躍できるように日々学んで欲しいと考えています。

電気系長
杉本　岳久

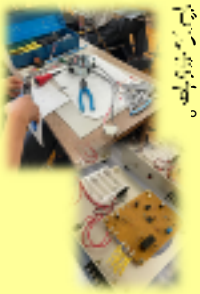
電気系では、「進路実現に向けた、生徒への支援・指導」を軸に、資格指導をはじめ、学校行事・地域連携に力を入れています。電気系といえば、電気工事などのイメージをお持ちの方もいらっしゃると思いますが、現在では、さらに新しいものを取り入れ、最新テクノロジーにむけた取り組みを積極的に行っています。

例えば、「ドローン自動制御実習」において、ドローンの用途から制御プログラミングまで幅広く学習します。ドローンの用途は、点検・運搬をはじめ、地図作成・レスキュー・娯楽などますます多様化しており、本校では、それらを有効利用できる方策を学びます。

他にも、「Pythonによる人工知能実習」も取り組んでおります。人工知能プログラミングにより、ビッグデータを収集しながら、回帰分析させるプログラミングで人工知能を築き上げていきます。実際に、人工知能が学習しながら自ら成長していく様子を体験しながら学習していきます。

資格指導として、今年度より電気系2学年による「第二種電気工事士」全員受験を開始しました。特に、電子情報通信専科にとって、やや専門外となりますが、本校を取り巻く求人状況や、進路の希望状況の傾向などから、国家試験である電気工事士の取得は非常に有効であると考えられます。また、電気工事に限らず、国家資格を取得する過程を経験することによって、今後の他の資格取得に役立ち、みずからの積極的な「学び」に直結していきます。

今後は、こういった成功体験や、実習等をはじめとした学校での「学び」を生かしながら、生徒個々の進路実現へとつながっていくよう指導をしていきます。また、現代社会における自分の産業社会での役割を考えつつ、現在の状況だけではなく、未来の社会やSDGSについて真剣に考えながら活躍できる人材育成を電気系教員で本気で取り組んでいます。



建築設備系長
渡邉　千佳

○建築設備系とは？

建築設備系では、人の生活に不可欠な衣・食・住のうち『住』について学んでいます。

○建築システム専科って？

建築物を建てるために必要な学習をし、将来は『建築技術者』をめざしています。各種の施工実習や測量、木工などを通して、実際の建築物に関する技術を、座学では構造や施工、構造計算、計画などの知識を身に付けていきます。製図の授業では、ドラフターでの手描き図面や、CADを使って、作図方法を学びます。

○設備システム専科って？

生活に必要な設備について学び、『設備技術者』として活躍することをめざします。給水・排水・電気について学び、配管・エアコンの取り付け、排水管の流体実験、冷暖房の実験、照明の実験を行い、設備についての知識や技能を学びます。

○取れる資格は？

資格取得にも力を入れており、国家資格である技能検定にもたくさんの生徒が挑戦しています。特に、配管技能検定2級を合格した生徒から選抜されると技能五輪全国大会大阪府代表としての出場ができます。他にも、建築施工管理技士・管工事施工管理技士・第2種電気工事士・建築CAD検定・左官技能士・鉄筋技能士などの資格取得に挑戦しています。

○学習環境

昨年度には、3Dプリンター・モデリングマシン・トータルステーションの機器を導入して頂き、最新の機器を使用できる環境が整いました。

進路指導部より

進路指導主事
小池　清隆

本年度進路指導主事を担当します。建築設備系の小池です。よろしくお願いいたします。

PTAの皆様方には本校の教育活動にご理解とご支援をいただき感謝いたします。

今年も進路説明会など様々な行事を実施しています。インターンシップは、多くの企業の参加申し込みをいただいております。2年生の生徒たちにとって将来の選択肢の参考になるようにと進路、2学年と連携して進めています。また、生徒たちは7月上旬より事前挨拶、7月下旬から8月上旬にかけては、3日間ほどの職業体験、8月中旬ごろに体験発表会を行います。来年の進路に向けた大事な体験になると思いますので、ご協力お願いいたします。

今年度も7月3日より求人票受付が開始され企業の方々が多数来校されています。3年生は、夏休みに補習授業を実施し、9月16日の就職試験開始日、入試などに向けて進んでいきます。進路決定の大事な時期であり、行うことは多岐に渡ります。一つ一つを丁寧に行い、早め早めに物事を進めてもらいたいと思います。希望の進路実現を果たせるように進路指導部一同サポートしてまいります。

最後になりましたが、保護者の皆様方には子どもたちの輝かしい未来に向け、教育活動へのご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和5年度　教員紹介

首　席
千田　充弘
佐伯　陽介
小池　清隆

系　長	
機械系	笹山　秀樹
電気系	杉本　岳久
建築設備系	渡邉　千佳

分　掌	
教務主任	芦田　和光
生徒指導主事	藪田　大輝
進路指導主事	小池　清隆
保健指導主事	渡邉　里子
ICT主担	近藤　智也
生徒会チーフ	小島　大亮

1年　学年団	
学年主任	西本　貴博
1組	小倉　将悟
2組	西山　雅浩
3組	徳本　智美
4組	江原　義哉
5組	中山　智弘

2年　学年団	
学年主任	西村　康平
機械系1組	岡田　祐也
機械系2組	宮北　宗典
電気系1組	圓道　慶
電気系2組	大竹　渉太
建築設備系1組	西澤　恭平
建築設備系2組	橋本　舞香

3年　学年団	
学年主任	岡　雄一郎
機械系1組	川村　拓也
機械系2組	松原　幸治
電気系1組	芦刈　由佳子
電気系2組	牛見　雄一郎
建築設備系1組	金野　隆雄
建築設備系2組	橋本　博幸